



ご 挨拶

松戸市が昭和十八年市制を施行して以来、二十万有余の人口を擁する中堅都市として発展を続ける中で、二十五周年の記念すべき年を迎えることができましたことは、まことに喜びにたえない次第であります。

二十五年という年月は、都市の歴史としましては、決して長いものではありませんが、この間にける本市の伸展は著るしく、なお多くの可能性を秘めてその姿を刻一刻変容しているということができます。この時にあたり広報紙の縮刷版である本書を市制施行二十五周年記念として刊行いたしましたことは、こうした本市動態の記録の一つの試みであると同時に、新らしい出発点に立つ本市の更なる躍進をこめてのものに他ならないのであります。

昭和二十五年「松戸市報」として発刊して以来、その名も「広報まつど」と改め今日に至っておりますが、その一頁一頁が文字通り本市が歩んだ縮図であろうかと考えるものであります。本市の二十六年目はすでに始まっております。過去を顧りみるものが即ち、積極的に未来を考えることではなかならぬことに思いを致して、本市発展のために更なる努力を重ねることを期すと共に、各位のなご一層のご尽力を賜わるべくお願い申し上げます。

昭和四十三年十一月一日

松戸市長 石 橋 與 市